

快適さ

省工ネ  
効果

# 夏のオフィスの軽装

「クール・ビズ」

COOL BIZ

夏は、家庭でもオフィスでも、ついつい冷房に頼りがち。でも、ひんやりするくらい冷房を効かせ、上着を着ているのでは、エネルギーの無駄づかいです。地球温暖化が問題となっている今、一人一人の省エネ実践が大切です。環境省では、28℃の室温でも涼しく効率的に働くことができる「夏の軽装」を「COOL BIZ」「クール・ビズ」と名付け、推進しています。「夏の軽装」をみなさんもこの夏はぜひ「クール・ビズ」を実行してみませんか？

夏はエネルギーの消費量がピークを迎える季節です。一人一人のちょっとした心がけが、大きな省エネにつながります。

## ◆冷房は室温28℃を目安に

暑いと頼りがちなエアコン……。28℃では少し暑いと感じる人もいますでしょう。しかし、上着を脱いで、ネクタイを外せば、体感温度は約2℃下がると言われています。暑いと感じる人に合わせてエアコンの設定温度を低くすると、その分、消費電力が増えるうえ、寒いと感じる人は1枚はおらずに済みます。

また、オフィスの室温を26℃から28℃にすると、冷房の消費電力のうち、約17%の省エネ効果があると言われています。

## ◆半数以上の企業が軽装を奨励

最近では、企業や行政のオフィスでも、快適に働けるよう、軽装を奨励しているところが増えています。同時に、冷房の設定温度を調整するなど、夏の

省エネを進めています。その結果、3年間で、電力やガスの消費量が約20%も減少したところがあります。

財団法人省エネルギーセンターが企業や自治体を対象に行ったアンケート調査によると、夏の軽装について、「奨励している」または「奨励する予定である」と答えた企業は、51.3%で、半数を超えています。

夏の軽装を奨励している企業のうち、「ノーネクタイ」を奨励しているのは60.8%。「ノーネクタイ」は、かなり浸透しているようです。また、「半そでのワイシャツやカジュアルスタイルもOK」という企業も目立つようになりました。

## ◆ノーネクタイは失礼？

軽装を奨励していない企業では、軽装することによって「顧客からの評価が下がる」「社内の秩序・風紀の乱れ」といったことを心配しているようです。しかし、すでに軽装を進めている企業では、軽装によって、むしろ「社員の士気や業務効率が上がった」「顧客の評価が良くなった」と、プラスの

影響を挙げています。

企業の省エネ行動の一環として、夏の軽装を奨励する企業が多くなっており、「ノーネクタイは失礼」という意識よりも、むしろ、「環境にやさしい取り組みを実践している」ということで、外部からもプラスの評価を得ているのかもしれない。

働く人も気持ちよく、地球にもやさしい、夏のオフィスの軽装「クール・ビズ」。この夏、皆さんのオフィスでも始めてみませんか。

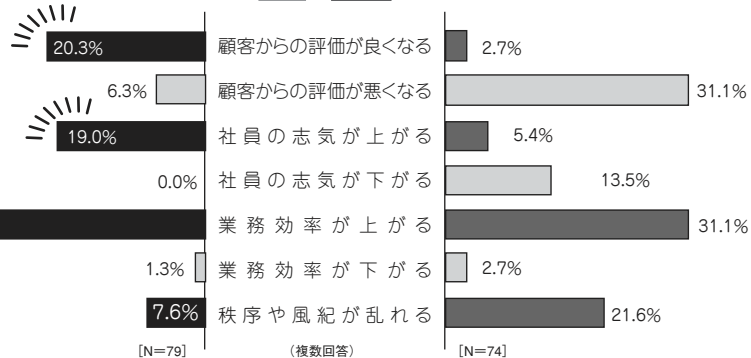
## ◆町でも「夏の軽装」及び「省エネ対策」を実施します！

6月から9月まで、町職員の服装がノーネクタイとなります。これにより役場庁舎や町内の公共施設の冷房温度を28℃に設定し、節電と経費削減を図ります。また、庁舎及び公共施設等について、昼休みは業務上必要な箇所を除き、全施設一斉に消灯します。町の皆様のご理解をお願いします。

軽装化を奨励している企業  
どんな影響がありましたか？



軽装化を奨励していない企業  
どんな影響があると思いますか？



(財) 省エネルギーセンター調査 (平成16年)

